



新年明けましておめでとーございます。
昨年同様、本年もご愛読のほどよろしく
お願い致します。

さて、本年初となる今回の通信では、
皆さまも悩まされたことがあるのでは
ないでしょうか「口内炎」について述べ
たいとおもいます。

口内炎といっても、たくさん種類が
ありますので、今回はもっとも多く見ら
れる「アフタ性口内炎」を取り上げたい
と思います。

アフタ性口内炎とは



右の写真のようにアフタ性口内炎は、
口腔粘膜にできる直径5ミリ程度の灰
白色の潰瘍です。痛みを伴い悪化すると
出血することもあります。通常は1〜2
週間程度で自然に完治しますが、重度の
ものでは、痛みのあまり摂食不能になる
こともあります。

原因

このアフタ性口内炎、発症の原因は現
在でもはっきりとはわかっていません
が、考えられている原因としては

- ・栄養の偏り
 - ・ビタミンの不足
 - ・ストレス
 - ・睡眠不足
 - ・口腔内が不衛生
 - ・口腔の乾燥
 - ・抵抗力の低下
- などがあがっています。



治療法について

基本的には、歯科や耳鼻咽喉科で診て
もらえます。

- ・軟膏の塗布
 - ・薬剤を含んだパッチを張る
 - ・ビタミン剤の投与
 - ・レーザー治療 などがあります。
- 軟膏は患部に直接塗ることによって空気や雑
菌などの外部との接触を遮断し、痛みも
軽減されます。張り薬も同様。

また殺菌作用のあるうがい薬も効果
的です。

ちなみに当院では、口内炎の痛みを改
善するものとして、「ケナログ口腔
用軟膏0・1%」「イソジンガーグル液
7%」を処方しております。

まとめ

口内炎の治療で、いちばん大切なのは、
何よりも「口腔内を清潔に保つこと」で
す。口の中には、数百種類の雑菌が存在
し、不潔にしていると菌が増殖し、口内
炎が長引く場合があります。

歯磨きをきちんと行いイソジンなど
の殺菌作用のあるうがい薬で、ブクブク
うがいをしてお口の中を清潔にしまし
よう。

最後に(口腔がんのおそれ)

これは実際に当院であった話ですが、
在宅の患者様の口腔内に口内炎と思わ
れる潰瘍ができていて、ケナログ塗布を
数回行ったが改善がみられずむしろ潰
瘍が大きくなっていました。心配に思っ
た歯科医が口腔外科への受診を勧めま
した。すると検査の結果その潰瘍は**口腔
がん**であることが判明しました。

口内炎の中にはまれに口腔がんに進
行する場合があります。しかし早期発見
すれば95%の確率で治ると言われて
います。万が一のためにも定期的に歯科
医のチェックを受けましょう。

